

**AISIN**

株主のみなさまへ

第83期 事業報告書

平成17年4月1日から平成18年3月31日まで



アイシン精機株式会社

## ■ 国内の生産・開発体制を強化

当期は海外展開に加えて国内の生産・開発体制の整備にも注力いたしました。2006年1月にはオートマチックトランスミッションを生産するアイシン・エイ・ダブリュ(株)の岡崎東工場(愛知県岡崎市)が稼働開始し、2月にはオイルポンプなどのアルミダイキャスト製品を生産する新会社、アイシン北海道(株)を北海道苫小牧市に設立しました。

また、需要の拡大に対応し、さらに生産力を増強するため愛知県西尾地区からドアハンドル、サンルーフなど車体部品を生産するアイシン精機(株)の西尾車体工場を同県碧南市に移設し、新たに衣浦工場として2006年5月から本格稼働しています。

開発面では、より高い信頼性の確保をねらいに、北海道の豊頃試験場に、世界の特徴的な路面や実際の走行環境を模擬した総合周回路を増設し、2005年9月より稼働を開始しました。

今後も生産・開発体制を強化し、事業拡大をめざしていきます。



アイシン精機 衣浦工場

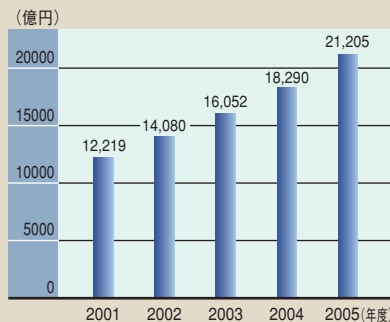


豊頃試験場(総合周回路)

## 財務ハイライト

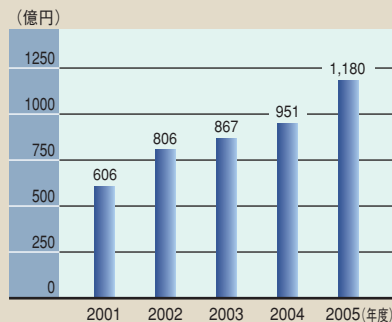
### 売上高

21,205億円(前期比 15.9%増)



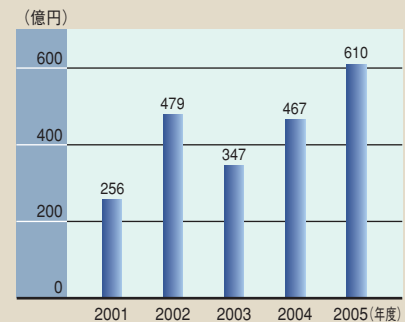
### 営業利益

1,180億円(前期比 24.2%増)



### 当期純利益

610億円(前期比 30.8%増)



## 株主のみなさまへ



取締役会長  
豊田 幹司郎

取締役社長  
山内 康仁

株主のみなさまには、平素より格別のご高配を賜り厚くお礼申し上げます。

当社第83期事業報告書をお届けするにあたり、ごあいさつ申し上げます。

当期(平成17年4月1日から平成18年3月31日まで)の売上高は2兆1,205億円と前期に比べ15.9%の増収となりました。利益面については、営業利益が前期比24.2%増の1,180億円、経常利益が27.1%増の1,250億円、当期純利益が30.8%増の610億円と、それぞれ過去最高となりました。

期末配当金につきましては、1株につき19円とさせていただきます。これにより、当期の配当金は、昨年11月の中間配当金1株につき13円とあわせ、年間としては前期に比べ8円増配の1株につき32円となります。

原油や鋼材、アルミなど原材料価格の高騰、さらに為替変動や価格競争の激化など、世界経済は、多くの不安定要素を抱えており、企業を取り巻く環境は不透明な状況にあります。このような中で、当企業グループは、足もとの課題に的確に対処するとともに、グループの総力を結集し、グローバル競争力と企業体質の強化

に積極的に取り組み、世界のトップブランドをめざしていきます。そのため、「環境」や「安全」、「快適」の分野で、新たな市場を創造するシステム商品の開発を加速するとともに、工法開発や人材育成を通じた「ものづくり力の向上」をはかり、お客様に喜んでいただける商品を積極的に提案していきます。また、国内をはじめ、北米や豪亜、欧州などでの生産・開発・販売体制のさらなる拡充により、グローバルな供給ネットワークを整備し、世界各地でのお客様のニーズに迅速に応えられる体制を構築していきます。

さらに、社会から信頼される企業として、新たに策定した「第4次環境取り組みプラン」に基づく環境保全5カ年計画の着実な推進により、環境のトップランナーをめざすとともに、地域発展や自然保護、青少年の育成に重点を置いた企業市民活動、公正で透明性の高い企業行動を絶えず心掛け、社会との調和ある成長と社業の発展に努めてまいります。

株主のみなさまにおかれましては、引き続き変わらぬご支援とご指導を賜りますようお願い申し上げます。

平成18年6月

# 事業活動

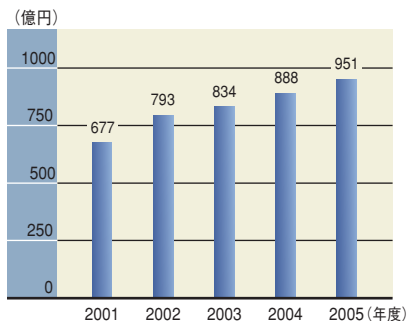
## ユーザーニーズに即した商品開発力で多彩な事業を展開しています。

多様化するユーザーニーズに的確に応え信頼を獲得するため、グループ各社が得意分野を活かした技術開発体制で、魅力ある商品の創出に積極的に取り組んでいます。

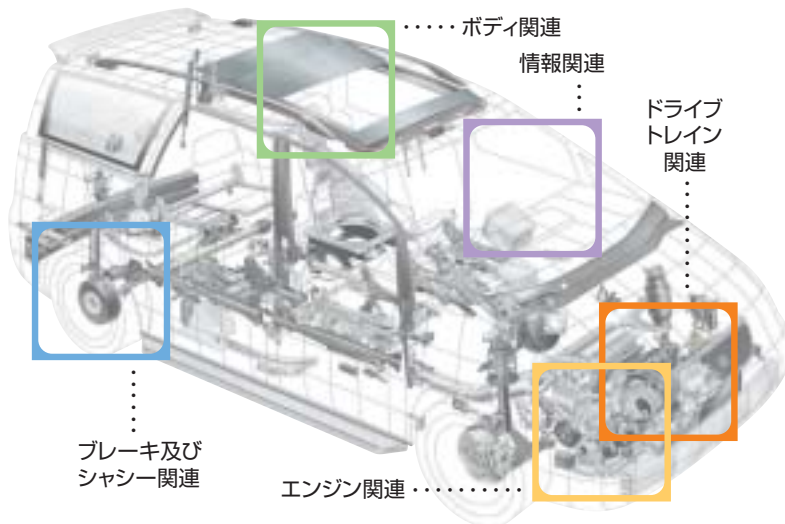
## ■ 研究開発費の推移

技術開発競争は一段と熾烈さを増しており、高い水準での技術開発投資が不可欠となっています。

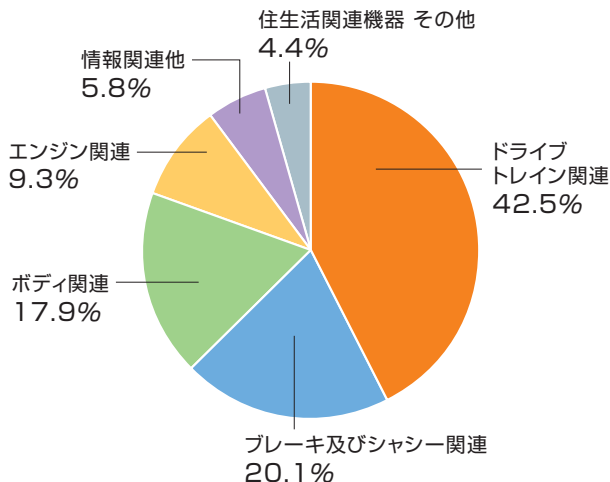
一時的な環境変化や業績に左右されることなく、常に将来を見据えた技術開発に力を入れていくことを基本姿勢に、今後も積極的な投資をはかり、新しい商品をいち早く世に送り出すことで、みなさまのニーズに応えていきたいと考えています。



## ■ 自動車関連製品



## ■ 事業別売上高比率 (2005年度)



※粗形材関連の売上高は各々の自動車関連分野に含まれています。

事業分野	主要製品	事業概要
ドライブトレイン 関連	<ul style="list-style-type: none"> <li>● オートマチックトランスミッション (AT)</li> <li>● マニュアルトランスミッション (MT)</li> <li>● オートメーテッド マニュアルトランスミッション</li> <li>● 無段変速機 (CVT)</li> <li>● クラッチディスク・カバー</li> </ul>	<p>売上の4割を占める主力事業であり、軽自動車から小型・中型トラックおよびバス、産業車両用まで業界一の品揃えを誇る。ATは世界No.1のシェア。</p>
ブレーキ及び シャシー関連	<ul style="list-style-type: none"> <li>● ドラムブレーキ ● ディスクブレーキ</li> <li>● ブレーキマスターシリンダー</li> <li>● アンチロック ブレーキ システム (ABS)</li> <li>● エレクトロニック スタビリティ コントロール (ESC)</li> <li>● エアサスペンションシステム</li> </ul>	<p>事故を起こしにくく、危険回避をしやすいクルマづくりのために、先進の技術を駆使し、「止まる」・「曲がる」・「走る」を融合した高性能で高品質なシステム商品を開発。</p>
ボディ関連	<ul style="list-style-type: none"> <li>● ドアロック</li> <li>● パワースライドドアシステム</li> <li>● パワーバックドアシステム</li> <li>● サンルーフ ● パワーシート</li> <li>● 体重検知センサー ● ドアフレーム</li> </ul>	<p>快適性・利便性・安全性など機能性の追求はもとより、デザイン性向上や軽量化に取り組み、お客様のカーライフの充実に貢献する商品を他社に先駆けて提供。</p>
エンジン関連	<ul style="list-style-type: none"> <li>● ウォーターポンプ ● オイルポンプ</li> <li>● ピストン</li> <li>● インテークマニホールド</li> <li>● エキゾーストマニホールド</li> <li>● 可変バルブタイミング機構 (VVT)</li> </ul>	<p>エンジンまわりの機能部品や鋳造部品を幅広く手がけており、エンジントータルの視点で、軽量化・排出ガスのクリーン化・省燃費に貢献できる技術開発を推進。</p>
情報関連他	<ul style="list-style-type: none"> <li>● カーナビゲーションシステム</li> <li>● 駐車アシストシステム</li> <li>● レーン逸脱報知システム</li> <li>● フロント&amp;サイドモニターシステム</li> <li>● インテリジェント パーキング アシストシステム</li> </ul>	<p>カーナビゲーションシステムや画像処理技術を活かした駐車支援システムなど、安全・快適なカーライフをサポートする商品を開発。カーナビゲーションは日本はもとよりグローバル市場での拡販活動により世界トップクラスのシェアを誇る。</p>
粗形材関連	<ul style="list-style-type: none"> <li>● プレス製品</li> <li>● アルミダイキャスト製品</li> <li>● 鋳鉄製品</li> <li>● 樹脂成形品</li> </ul>	<p>グループ各社がさまざまな分野の粗形材技術を有している強みを活かし、新技術・新工法開発に積極的に取り組むとともに、各商品の競争力向上やグループ全体での付加価値の向上をはかっている。</p>
住生活関連機器 その他	<ul style="list-style-type: none"> <li>● ベッド ● ミシン ● シャワートイレ</li> <li>● ガスヒートポンプエアコン (GHP)</li> <li>● ガスエンジン コージェネレーションシステム</li> <li>● 住宅リフォーム ● 電動車いす ● 介護ベッド</li> </ul>	<p>省エネルギー化や健康・快適な暮らしに対するニーズの高まりに応えた商品を積極的に開発。また、新しい価値の創造をめざし、フェムト秒ファイバーレーザーやバイオ関連機器など新たなビジネス分野も拡大中。</p>



# 事業別の概況

## ドライブトレイン関連

### オートマチックトランスミッション(AT)・マニュアルトランスミッション(MT)の拡販により、好調に推移

2005年度売上高は9,016億円(前期比17.3%増)となりました。これはアイシン・エイ・ダブリュの6速AT、アイシン・エーアイの6速MTの販売が好調に推移したことによるものです。

#### **New** 後輪駆動車用ハイブリッドシステム(HR-10)

**世界初**



動力分割機構、モーター、2段変速式リダクション機構などの主要ユニットを組み込みながら小型化を達成

《搭載車種》

- レクサス「GS450h」

アイシン・エイ・ダブリュ

#### **New** 高容量前輪駆動車用(FF)6速MT(BG6)



新開発の3軸タイプギヤトレイン構造により、高容量FF6速MTで軽量・コンパクト化を達成

《搭載車種》

- トヨタ「アベンシス」、「カローラ」
- マツダ「Mazda6」、「Mazda5」
- 三菱「エクリプス」、「グランディス」

アイシン・エーアイ

#### **拡販** 前輪駆動車用CVT(XA10-LN)



トルクコンバータの小型化により世界最軽量・コンパクト化を実現

《搭載車種》

- トヨタ「ラクティス」、「ベルタ」

アイシン・エイ・ダブリュ

#### **拡販** 中容量前輪駆動車用(FF)6速AT(TF-60SN)



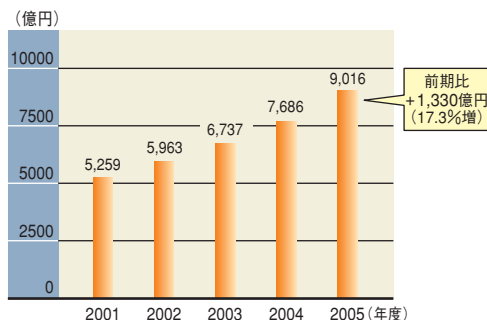
燃費・動力性能に優れた軽量・コンパクトな世界初のFF6速AT

《搭載車種》

- VW「パサート」、「ジェッタ」

アイシン・エイ・ダブリュ

### 売上高推移



#### **海外展開** 中容量後輪駆動車用(FR)5速MT(AR5)



乗用車からSUVまで幅広く対応し、世界トップクラスの性能と低コストを両立した中容量FR5速MTを国内、中国に加えタイでも生産を開始

《搭載車種》

- トヨタ「IMV(ハイラックス・ヴィーゴ)」
- 三菱「トライトン」

アイシン・エーアイ

## ブレーキ及びシャシー関連

### システム商品の販売が好調に推移

2005年度売上高は4,251億円(前期比14.3%増)となりました。これは、アドヴィックスのブレーキシステム、ならびにブレーキコンポーネントの販売が国内外で好調に推移したことによるものです。

#### New 電動アクティブスタビライザーシステム **世界初**



旋回時の車の傾きを制御し、車両姿勢の安定化と操縦安定性を向上

##### 《搭載車種》

- レクサス「GS」

##### アイシン精機

(トヨタ自動車(株)と共同開発)

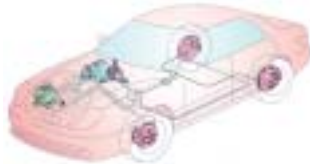
#### 拡販 ブレーキシステム

車両の特性に応じた最適なブレーキシステムを実現

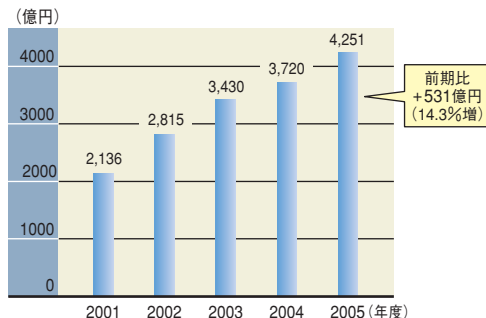
##### 《搭載車種》

- レクサス「GS」、「IS」
- GM「ハマー3」

##### アドヴィックス



### 売上高推移



## ボディ関連

### 車の利便性、快適性を高める製品を市場投入

2005年度売上高は3,795億円(前期比19.4%増)となりました。これは、アイシン精機のパワースライドドアシステムや体重検知センサーなどの販売が好調に推移したことによるものです。

#### New 電動格納シート ミニバンなどのシートを簡単に床下に格納し、広い収納スペースを確保



##### 《搭載車種》

- トヨタ「エスティマ」
- 「シエナ(北米)」

##### アイシン精機

(トヨタ自動車(株)、トヨタ紡織(株)、シロキ工業(株)と共同開発)

#### 拡販 パワースライドドアシステム

スライドドア内部に駆動ユニットを内蔵し、広い車室空間を確保

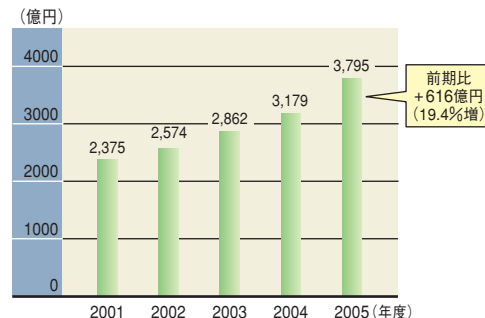
##### 《搭載車種》

- トヨタ「エスティマ」
- スズキ「エブリイワゴン」
- 日産「セレナ」

##### アイシン精機



### 売上高推移



# 事業別の概況

## エンジン関連

### 国内外での増産に伴い、売上が好調

2005年度売上高は1,973億円(前期比13.7%増)となりました。これは、アイシン精機のエンジンフロントモジュール等のアルミ部品、ならびにアイシン高丘のタイ拠点などの販売拡大によるものです。

#### エンジンフロントモジュール



エンジン前まわりの部品を集約し、軽量化・低コスト化を実現

アイシン精機

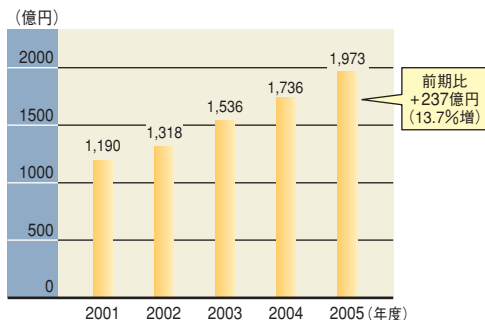
#### シリンダーヘッドカバー



各種エンジンに最適なシリンダーヘッドカバーを設計

アイシン精機

### 売上高推移

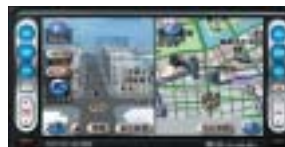


## 情報関連他

### カーナビゲーションシステムの販売拡大

2005年度売上高は1,232億円(前期比8.5%増)となりました。これは、アイシン・エイ・ダブリュのカーナビゲーションシステムやアイシン精機の駐車アシストシステムの販売が好調に推移したことによるものです。

#### New トヨタ純正日本向けプレミアム2デッキボイスナビゲーションシステム



目的地までのルート情報をマップメモリー機能で記録することにより、DVDビデオ再生とナビの同時利用が可能

【新モデル納入先】

- トヨタ「全車種」

アイシン・エイ・ダブリュ

#### New インテリジェント パーキング アシストシステム



駐車時のステアリング操作を支援するこのシステムに駐車区画線の自動認識機能を追加し操作性を向上

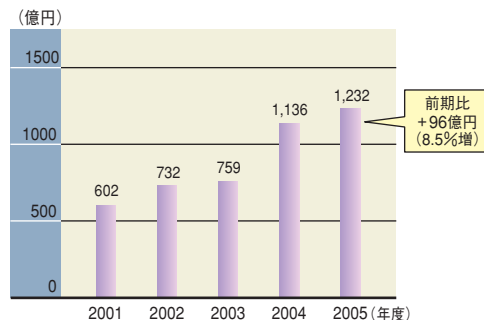
【搭載車種】

- トヨタ「プリウス」

アイシン精機

(トヨタ自動車(株)と共同開発)

### 売上高推移





## 粗形材関連

### 新工法・新素材の開発と要素技術の強化

粗形材関連分野においては、製品の機能・性能・強度を確保しつつ、小型・軽量化や低コスト化を実現していくことが求められており、アイシンは、さまざまな分野の粗形材技術を有している強みを活かし、材質置換や新工法・新材料など、新たな技術導入に積極的に取り組んでいます。主に、アイシン高丘が鑄鉄製品、アイシン化工が樹脂成形・化成品、アイシン軽金属がアルミダイキャスト製品、そしてアイシン精機がプレス部品とアルミダイキャスト製品を担当しています。

**拡販** ダイクエンチ工法軽量バンパーリール  
フォースメント



超高強度化工法により、バンパーの軽量化とデザイン性を向上

〈搭載車種〉

●マツダ「ロードスター」 **アイシン高丘**



**拡販**

高性能塗布型制振材

高い制振効果を発揮し、  
車両重量の軽減に貢献

〈搭載車種〉

●トヨタ「プリウス」

**アイシン化工**

\* 売上高については各々の自動車関連分野に含まれています。

## 住生活関連機器 その他

### 国内外でGHPの売上が拡大

2005年度売上高は935億円（前期比12.6%増）となりました。これは、ガスヒートポンプエアコン（GHP）などの拡販によるものです。

住生活関連機器 その他では、ベッド、シャワートイレ、ミシン、介護・福祉機器、リフォームサービスなどを取り扱っています。また、環境に優しい商品の実用化を目指し、次世代エネルギー機器として、燃料電池を使った家庭用コージェネレーションシステムなどの開発にも積極的に取り組んでいます。

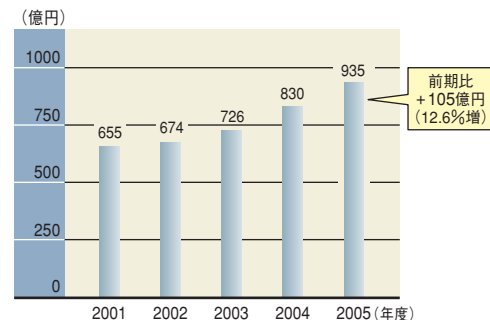
**New** アレックス  
「ALEX」



自動車技術を応用し、  
アルミニウムをフレーム  
部分に使用した  
国内メーカー唯一のベッド

**アイシン精機**

### 売上高推移



# グローバル展開

アイシンはグローバル市場での事業拡大をめざし、世界各地で生産拠点の増強をはかるとともに、販売・開発体制を整備しています。2005年度の海外売上高は前期に比べ27.6%増の7,140億円となり、海外売上高比率は前期に比べ3.1%増加し、33.7%となりました。

## 北米

### 自動車メーカーの需要拡大に対応し、 生産・開発体制を増強

2005年度の北米での売上高は前期に比べ38.0%増の3,775億円となりました。これは、主に得意先生産増によるものです。

#### ■ 海外に初めて試験場を開設

2005年10月米国ミシガン州に当社として海外初の試験場を新設しました。車両性能評価を行える試験環境を整えたことにより、北米での開発・販売体制を一層強化し、北米市場での事業拡大をめざします。



アイシン・エレクトロニクス・イリノイ

システム商品の頭脳となるECUなどの電子部品を製造。2005年8月生産開始。



アイシン・オートモティブ・キャストینگ・テネシー

エンジンフロントモジュールやピストンなどのアルミ機能部品を製造。2005年7月生産開始。

## 欧州(トルコを含む)

### オートマチックトランスミッションや カーナビゲーションの拡販により売上増

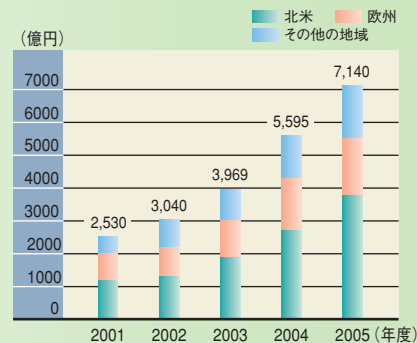
2005年度の欧州での売上高は前期に比べ4.7%増の1,738億円となりました。これは、主に欧州メーカー向けオートマチックトランスミッションの売上増によるものです。



アイシン・オトモティブ・バルジャラリ・サナイヴェ・ティジャレト(トルコ)

ドアフレームなどの車体部品を製造。2005年4月生産開始。

### ■ 海外売上高の推移



## その他の地域 (アジア他)

### タイ・インドネシアでの売上が拡大

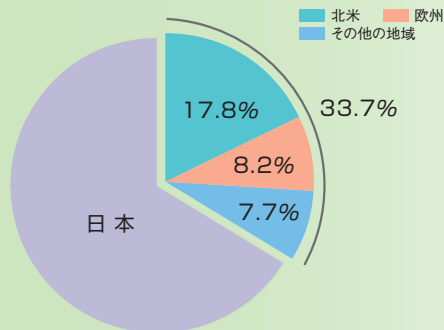
2005年度のその他の地域 (アジア他) での売上高は前期に比べ35.6%増の1,625億円となりました。これは、主にタイヤやインドネシアでの得意先生産増によるものです。



アイシントカオカ・  
ファンドリー・バンパコン

製造ラインを増設し、  
鋳造部品の生産能力を増強

## 海外売上高比率 (%) 2005年度



## 中国での展開

### 華北・華南、両地域での生産・供給体制を強化し、事業基盤を拡充

急速に成長を続けている中国の自動車市場において、今後の需要拡大に備えた生産体制の整備を進めています。

#### ■2005年度に連結対象に加わった生産拠点

##### アイシン精機佛山車体部品有限公司

生産品: ボディ部品

設立: 2004年12月、2006年4月生産開始

##### 唐山アイシン自動車部品有限公司

生産品: エンジン部品

設立: 2005年3月、2007年3月生産開始予定

##### 高丘六和(広州)機械工業有限公司

生産品: 自動車用鋳鉄部品

設立: 2005年4月、2005年11月生産開始

##### 豊生(福州)制動器有限公司

生産品: ブレーキ部品

設立: 2004年9月、2006年4月生産開始

##### 天津豊愛自動車シート部品有限公司 (トヨタ紡織との合併)

生産品: シート用フレームおよび機能部品

設立: 2005年11月、2007年5月生産開始予定



アイシン精機佛山車体部品有限公司

# 社会・自然との共生

**2005年度の主な活動** アイシンは人と社会と環境にやさしい企業をめざし、「良き企業市民」として信頼されるよう、地域に密着した活動に積極的に取り組んでいます。

## ●地域発展・街づくり

### アイシンふれあいフェア

2005年12月、従業員のボランティア活動の推進と地域市民の方との交流を目的に開催。地元の小学生のプラスバンド部に出演してもらうなど、市民と一体になったイベントを実施しました。



### オールアイシンNPO活動応援基金

アイシンは毎年開催しているチャリティーコンサートの収益金の有効活用としてボランティア活動を行う団体に対し活動資金の支援を行っています。8回目となる2005年度は寄付先として10団体を選出し、あわせて200万円を贈呈しました。



### 創立40周年を記念し車両や製品を寄贈

アイシン精機創立40周年を記念して、生産拠点のある10市町村の官公庁に車両を寄贈。また、地域・NPO22団体に電動車いすなどの自社製品を寄贈しました。



## ●自然・環境保護

### 「AISIN子供の森」プロジェクト

アイシンの従業員とタイの子供たちが協力して、植林活動を行っています。2004年度から5年間で6万本(45ヘクタール相当)の植林を行う計画です。今後は他のアジア地域へも展開していきます。



### 緑の再生プロジェクト

アイシンは地域市民の方とともに森林育成に取り組んでいます。矢作川の上流にある水源の森(長野県根羽村)での間伐作業や、富士山5合目付近での植樹活動を実施しています。



### 根羽村親子わんぱく体験隊

親子で楽しく自然にふれる機会をもつことで、環境保護意識を育んでもらおうと、根羽村で年間を通して自然をテーマにしたさまざまな活動を実施しています。



## ●青少年育成

### アイシンものづくり広場

2005年9月、ものづくりの楽しさを通して、地域の子供たちに科学の原理を理解してもらうことを目的に「第4回アイシンものづくり広場」を開催しました。今回は「遠心力」をテーマに、わた菓子キットをつくりました。



### 地元小学校で環境講座を実施

2005年4月から半年間にわたり、地元の小学校へ出向いて、座学(学び)と感じる(体験)をセットにした環境講座を実施しました。



### 発明クラブ

ものづくり企業で培った技能を活かして、当社の従業員や技能士会のメンバーが、地域の子供たちに作る楽しさや考える面白さを伝授する活動を行っています。



## ●海外拠点の活動

### 公園づくりボランティア活動

アイシン・ドライブトレイン(米国)では地元の公園整備のため、寄付金を送るとともに、大勢の従業員が参加し、遊具の設営などを行いました。



### アイシン奨学金制度

アイシン・マニファクチャリング・イリノイ(米国)では、地元の大学へ2005年10月に奨学金として1万ドルの寄付を行いました。また、現在7名のインターン

学生の受け入れを行っており、企業での実践教育(生産技術、品質、経理)を行っています。



## ●ものづくり

### 技能五輪への挑戦

2005年10月、第43回技能五輪全国大会に、アイシンからは13人が出場し、1名が金メダル、8名が敢闘賞を受賞しました。



### 文部科学大臣賞を受賞

文部科学大臣賞(職域における創意工夫功労者)を過去最高のグループ15社169名(前年度133名)が受賞しました。

# 連結決算

## 連結損益計算書の要旨

(単位:百万円)

科目	当期	前期
	2005年4月1日から 2006年3月31日まで	2004年4月1日から 2005年3月31日まで
売上高	2,120,588	1,829,064
売上原価	1,829,682	1,579,484
販売費及び一般管理費	172,809	154,469
営業利益	118,096	95,110
営業外収益	20,341	17,185
営業外費用	13,341	13,838
経常利益	125,096	98,457
特別損失	—	5,727
税金等調整前当期純利益	125,096	92,729
法人税、住民税及び事業税	47,800	32,609
法人税等調整額	△ 7,649	△ 1,132
少数株主利益	23,849	14,533
当期純利益	61,095	46,718

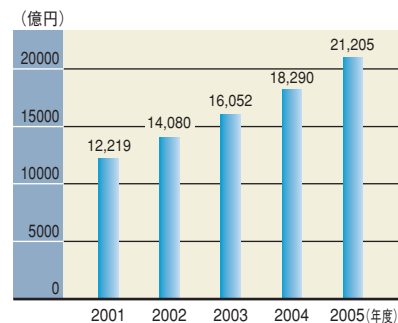
### 売上高

主要得意先の自動車生産台数の増加に加え、車の安全・環境・利便・楽しさを追求した新製品の拡販に努めた結果、前期に比べ15.9%増加しました。

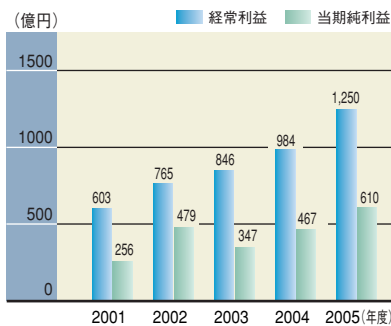
### 経常利益

原材料価格の変動など減益要因はありましたが、売上の増加に加え、原価低減・工程の改善など経営全般にわたる合理化・効率化活動に取り組んだ結果、前期に比べ27.1%増加しました。

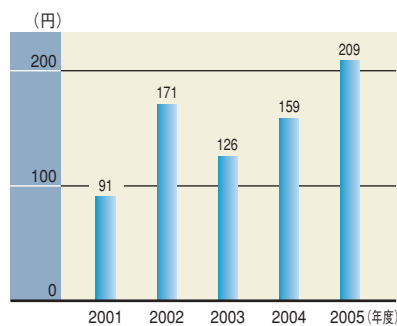
### 売上高



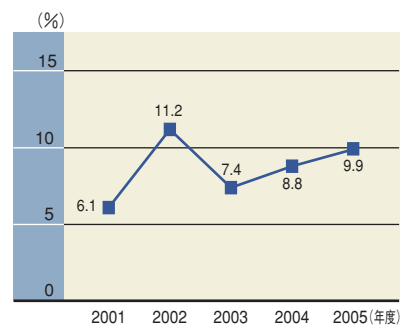
### 経常利益/当期純利益



### 1株あたり当期純利益



### 株主資本利益率 (ROE)





## ■ 連結貸借対照表の要旨

(単位:百万円)

科目	当期 (2006年3月31日)	前期 (2005年3月31日)	科目	当期 (2006年3月31日)	前期 (2005年3月31日)
<b>(資産の部)</b>			<b>(負債の部)</b>		
流動資産	694,030	601,881	流動負債	639,100	531,611
現金及び預金	95,443	90,287	支払手形及び買掛金	327,176	262,654
受取手形及び売掛金	336,864	287,955	短期借入金	46,887	58,778
有価証券	32,434	34,109	その他	265,035	210,178
たな卸資産	148,782	122,460	固定負債	363,294	273,256
その他	82,281	67,758	社債	35,500	25,650
貸倒引当金	△ 1,775	△ 690	● 長期借入金	176,811	129,767
固定資産	1,159,428	901,432	繰延税金負債	63,609	26,457
● 有形固定資産	777,763	627,216	退職給付引当金	84,750	81,965
建物及び構築物	211,914	177,666	長期未払金	2,542	9,415
機械装置及び運搬具	382,263	297,317	その他	80	—
その他	183,585	152,231	負債計	1,002,394	804,867
無形固定資産	10,249	8,466	(少数株主持分)		
投資その他の資産	371,415	265,749	少数株主持分	172,183	145,693
● 投資有価証券	319,716	215,952	(資本の部)		
長期貸付金	4,314	4,245	資本金	45,049	45,049
繰延税金資産	21,450	22,031	資本剰余金	63,262	63,061
その他	26,388	24,147	利益剰余金	445,241	392,836
貸倒引当金	△ 455	△ 627	その他有価証券評価差額金	123,720	66,597
			為替換算調整勘定	3,427	△ 11,674
			自己株式	△ 1,820	△ 3,116
			資本計	678,881	552,752
合計	1,853,458	1,503,313	合計	1,853,458	1,503,313

### 投資有価証券

保有株式の株価上昇などにより有価証券の評価益が増加しました。

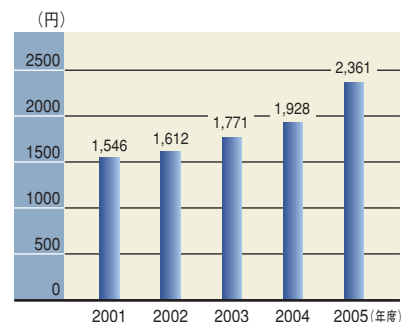
### 有形固定資産

有形固定資産は、1,505億円増加しました。アイシン精機衣浦工場やアイシン・エイ・ダブリュ岡崎東工場をはじめ、北米・中国・欧州での生産能力増強などが、主な要因です。

### 長期借入金

金融機関から長期借入を行い、国内外での設備投資資金に充当しました。その結果、有利子負債の合計は、450億円増の2,591億円となりました。

### ■ 1株あたり株主資本



# 連結決算

## 連結キャッシュ・フロー計算書の要旨

(単位:百万円)

科目	当期	前期
	2005年4月1日から 2006年3月31日まで	2004年4月1日から 2005年3月31日まで
I. 営業活動によるキャッシュ・フロー	185,715	142,675
II. 投資活動によるキャッシュ・フロー	△ 215,495	△ 174,817
III. 財務活動によるキャッシュ・フロー	36,834	22,304
IV. 現金及び現金同等物に係る換算差額	4,757	23
V. 現金及び現金同等物の増減額	11,811	△ 9,812
VI. 現金及び現金同等物の期首残高	116,401	126,214
VII. 現金及び現金同等物の期末残高	128,212	116,401

### 営業活動によるキャッシュ・フロー

- ・当期純利益 +1,250億円
- ・減価償却費 +1,230億円
- ・その他 △623億円

### 投資活動によるキャッシュ・フロー

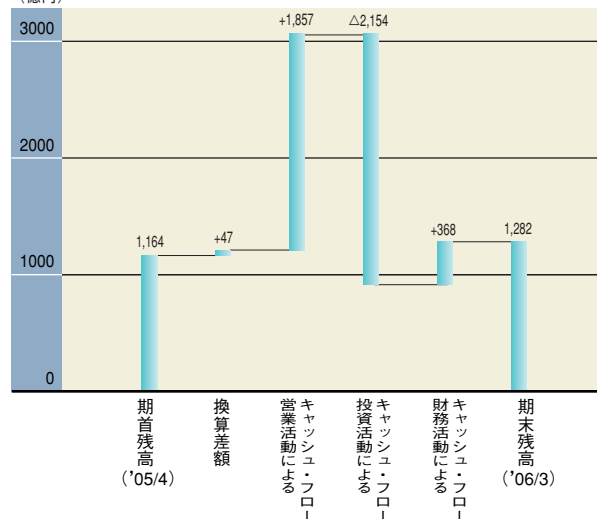
- ・設備投資(支払ベース) △2,187億円
- ・投資有価証券増減他 +33億円

### 財務活動によるキャッシュ・フロー

- ・借入金増額 +451億円
- ・配当金支払 △102億円
- ・その他 +19億円

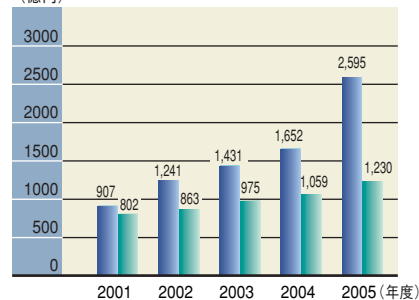
## キャッシュ・フロー

(億円)



## 設備投資/減価償却

(億円)



# 単独決算

## 損益計算書の要旨

(単位:百万円)

科目	当期	前期
	2005年4月1日から 2006年3月31日まで	2004年4月1日から 2005年3月31日まで
売上高	720,541	649,282
売上原価	627,298	566,571
販売費及び一般管理費	58,022	50,773
営業利益	35,220	31,938
営業外収益	12,452	8,873
営業外費用	5,703	6,464
経常利益	41,969	34,347
特別損失	—	1,375
税金等調整前当期純利益	41,969	32,972
法人税、住民税及び事業税	14,800	10,400
法人税等調整額	△ 1,494	1,082
当期純利益	28,664	21,489
前期繰越利益	65,587	51,248
中間配当額	3,823	2,932
当期末処分利益	90,428	69,805

## 利益処分

(単位:百万円)

摘要	当期	前期
	2005年4月1日から 2006年3月31日まで	2004年4月1日から 2005年3月31日まで
(1) 当期末処理分利益の処分		
当期末処理分利益	90,428	69,805
特別償却準備金取崩額	180	181
固定資産圧縮積立金取崩額	194	208
合計	90,804	70,195
これを下記のとおり処分致します		
株主配当金	5,589	4,107
(1株につき19円)	(1株につき14円)	
取締役賞与金	264	224
監査役賞与金	33	30
特別償却準備金	311	244
次期繰越利益	84,605	65,587
(2) その他の資本剰余金の処分		
その他資本剰余金	336	134
これを下記のとおり処分致します		
その他資本剰余金次期繰越額	336	134

(注) 平成17年11月25日に1株につき13円、総額3,823百万円の間配当を実施いたしました。

## 貸借対照表の要旨

(単位:百万円)

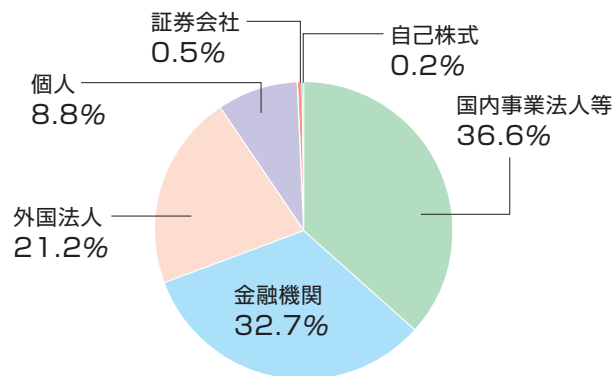
科目	当期	前期
	(2006年3月31日)	(2005年3月31日)
(資産の部)		
流動資産	292,886	238,612
現金及び預金	21,398	18,636
受取手形及び売掛金	157,215	144,208
有価証券	23,102	21,207
たな卸資産	19,979	17,540
その他	71,395	37,190
貸倒引当金	△ 205	△ 171
固定資産	658,295	482,190
有形固定資産	169,391	139,581
建物及び構築物	57,960	46,474
機械装置及び運搬具	55,071	45,688
その他	56,359	47,417
無形固定資産	3,932	3,248
投資その他の資産	484,970	339,361
投資有価証券	90,896	61,538
関係会社株式・出資金	317,977	235,134
その他	76,223	42,762
貸倒引当金	△ 126	△ 74
合計	951,182	720,802

科目	当期	前期
	(2006年3月31日)	(2005年3月31日)
(負債の部)		
流動負債	205,005	160,494
支払手形及び買掛金	101,608	86,517
その他	103,396	73,976
固定負債	300,327	192,507
社債	35,000	25,000
長期借入金	164,000	100,000
繰延税金負債	62,345	25,141
退職給付引当金	37,653	37,085
長期未払金	1,329	5,280
負債計	505,333	353,001
(資本の部)		
資本金	45,049	45,049
資本剰余金	63,262	63,061
利益剰余金	216,910	196,432
その他有価証券評価差額金	121,415	65,338
自己株式	△ 790	△ 2,080
資本計	445,848	367,801
合計	951,182	720,802

## 株式の状況 (2006年3月31日現在)

発行する株式の総数……………700,000 千株  
 発行済株式の総数……………294,674 千株  
 株主数……………21,502 名

### 株式の分布状況



### 大株主 (上位10名)

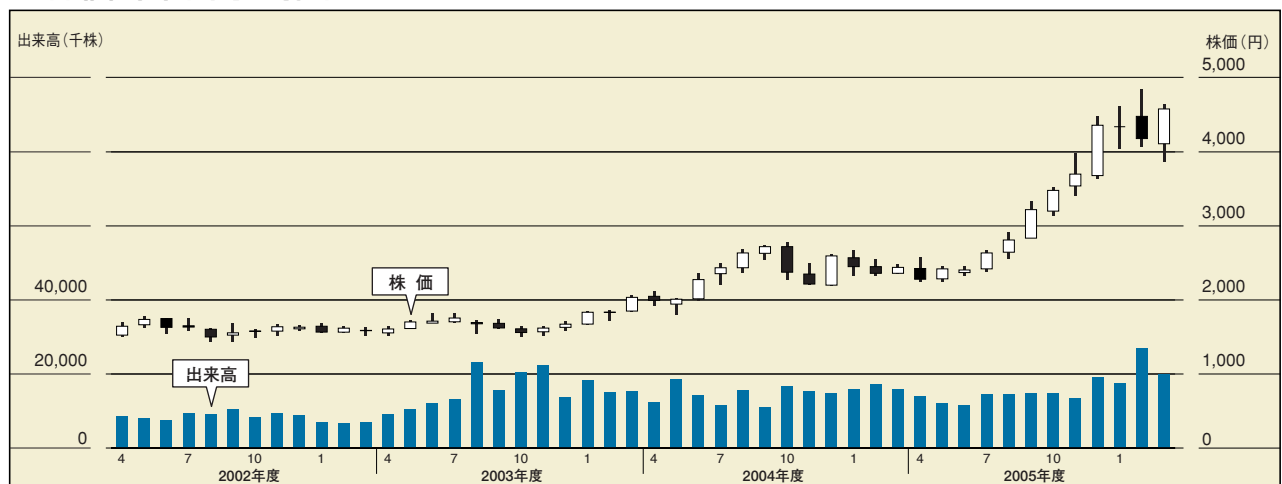
株主名	持株数(千株)	議決権比率(%)
トヨタ自動車株式会社	65,558	23.1
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社	19,769	7.0
株式会社豊田自動織機	19,658	6.9
日本マスタートラスト信託銀行株式会社	17,049	6.0
ステートストリートバンクアンドトラストカンパニー	9,115	3.2
資産管理サービス信託銀行株式会社	8,268	2.9
日本生命保険相互会社	7,582	2.7
アイシン開発株式会社	6,499	—
東和不動産株式会社	6,344	2.2
三井住友海上火災保険株式会社	5,902	2.1

### 配当金の推移

	2001	2002	2003	2004	2005(年報)
中間(円)	6.0	6.5	8.0	10.0	13.0
期末(円)	7.0	8.5	10.0	14.0	19.0
合計(円)	13.0	15.0	18.0	24.0	32.0

### 株価・出来高の推移

証券コード:7259 単元株式数:100株



# 会社概要

## ■会社概要 (2006年3月31日現在)

会社名	アイシン精機株式会社
本社所在地	〒448-8650 愛知県刈谷市朝日町2丁目1番地 TEL 0566-24-8441 (代表)
設立年月日	1949年6月1日
資本金	450億円
従業員数	単独 10,837人 連結 59,587人
連結対象会社	連結子会社 132社 (国内61社、海外71社) 持分法適用会社 14社 (国内9社、海外5社)

## ホームページのご案内

<http://www.aisin.co.jp>

財務情報は「株主・投資家情報」のページをご覧ください。

また、2005年10月よりEメールによるIR情報発信サービス「アイシン精機ニュースメール」を開始しました。ご希望の方はアイシン精機ホームページ「株主・投資家情報」にアクセスしていただき、画面右上の「アイシン精機ニュースメール」申し込みページより、必要事項をご入力の上、ご登録ください。

みなさまのアクセスをお待ちしています。

## ■取締役および監査役 (2006年6月22日現在)

取締役会長	豊田 幹 司 郎	専務取締役	齋藤 千 久	取締役	森 治 男
取締役副会長	田 中 資 康	専務取締役	奥 矩 雄	取締役	近藤 隆 一 郎
取締役副会長	夏目 美 喜 雄	専務取締役	堀 場 正 樹	取締役	周 防 雅 弘
取締役社長	山 内 康 仁	専務取締役	水 野 玄 四 郎	取締役	千 賀 哲 郎
取締役副社長	林 稔	専務取締役	中 村 俊 一	常勤監査役	水 野 清 史
取締役副社長	井 上 宗 太	専務取締役	板 倉 伸 二	常勤監査役	権 田 銀 弘
取締役副社長	藤 森 文 雄	専務取締役	内 本 恒 男	監査役	豊 田 章 一 郎
取締役副社長	川 田 武 司			監査役	水 谷 渺 行 代
				監査役	濱 田 道 代
				監査役	山 田 洋 久

## ■常務役員 (2006年6月22日現在)

山村 慎 一 郎	瀬川 儀 一	榎本 貴 志
名倉 敏 一	神尾 哲 樹	齋藤 雅 康
鈴木 光 幸	西村 淳 一	宇佐見 一 美
石山 正 二	藤江 直 文	三 矢 誠
森田 隆 史	島 貫 静 雄	水 島 寿 之
間 瀬 隆	辻 村 健 次	加 藤 喜 昭

## 株式についてのご案内

- 事業年度 毎年4月1日から翌年3月31日まで
- 定時株主総会 毎年6月
- 期末配当金支払い株主確定日 3月31日 なお、中間配当を行う場合は、9月30日
- 単元株式数 100株
- 証券コード 7259
- 株主名簿管理人 三菱UFJ信託銀行株式会社
- 連絡先 三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部  
〒137-8081 東京都江東区東砂7丁目10番11号
- 取次所 三菱UFJ信託銀行株式会社 全国各支店  
野村證券株式会社 全国本支店

## 株主インフォメーション

### ■ 期末配当金のお受け取りについて

今回お届けした郵便振替支払通知書による配当金のお受け取り期間は平成18年7月31日(月)までとなっております。郵便振替支払通知書をお持ちになって、お近くの郵便局でお早めにお受け取りください。

### ■ 株式手続きについて

住所変更、株主名簿、株券喪失登録簿および新株予約権原簿への記載または記録、単元未満株式の買取および買増請求、その他株式に関するお問い合わせは次の三菱UFJ信託銀行の電話およびインターネットでも承っております。

電話(通話料無料) 0120-232-711 (お問い合わせ:オペレーター対応)  
0120-244-479 (音声自動応答:用紙のご請求専用)  
ホームページ <http://www.tr.mufg.jp>

## アイシン精機株式会社

〒448-8650 愛知県刈谷市朝日町2丁目1番地  
電話(0566)24-8441(代表)



本紙は環境保護に配慮し、古紙配合率100%再生紙を用い、アメリカ大豆協会認定の「大豆油インキ」を使用して印刷されています。